

山形県スポーツ少年団

大空に翔る

昭和60年3月15日発行

No. 1

発行

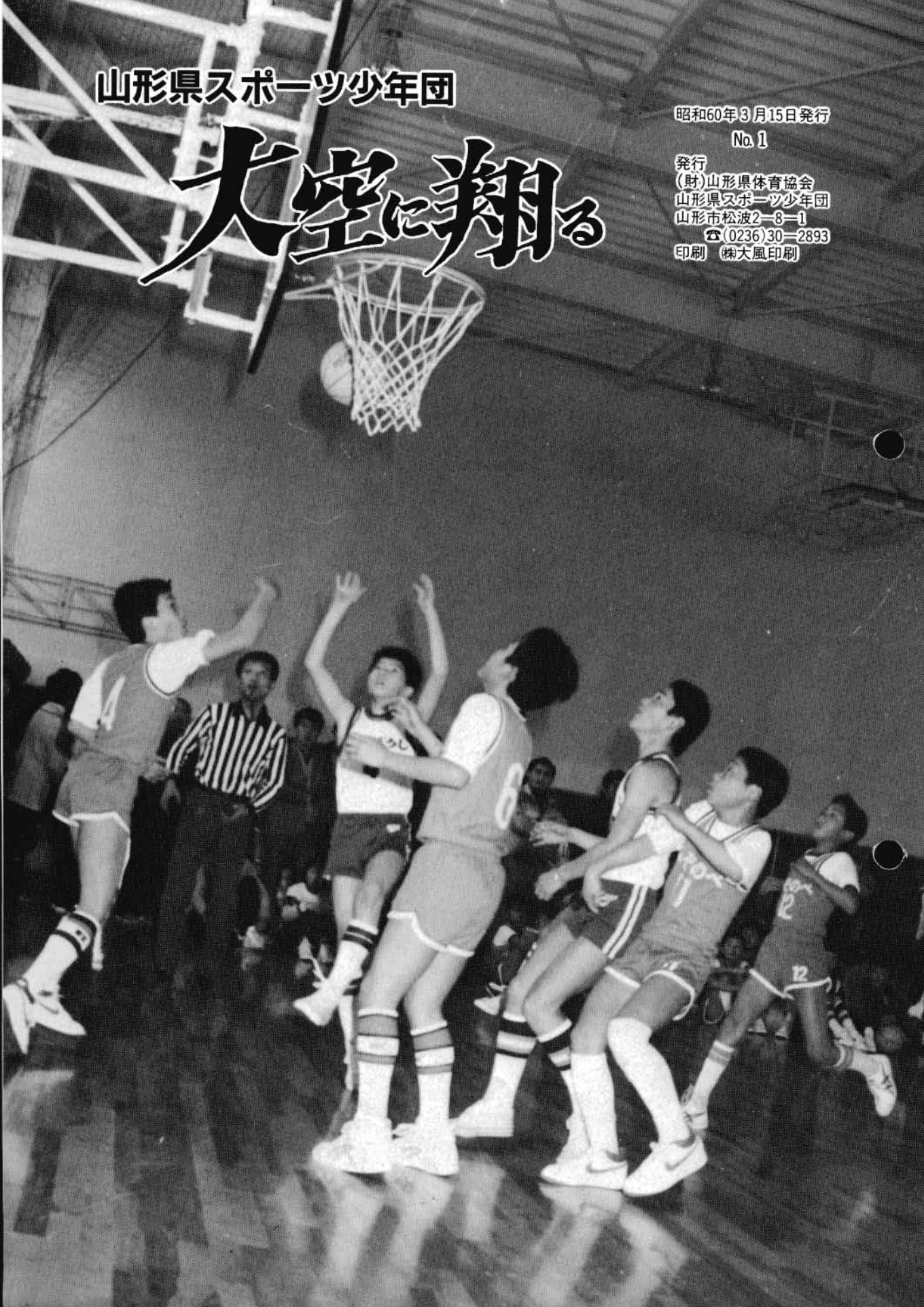
(財)山形県体育協会

山形県スポーツ少年団

山形市松波2-8-1

☎(0236)30-2893

印刷 榎大風印刷



大いなる飛躍を願って



山形県スポーツ少年団

本部長 永田 亀 昭

東京オリンピック前々年の昭和三十七年、オリンピックを記念する永遠の事業である、という願いと期待を込めて、日本スポーツ少年団は創設されている。

をいただいた地域の多数の指導者をはじめ、育成母集団、関係機関の皆様にご敬意と謝意を禁じえません。

全国でもいち早く全市町村に本部が設置されるなど、組織の確立や活動実績でも高い評価を得ている。

昭和三十八年に日本本部の育成理念を受け、スポーツ活動を通して青少年が逞しく成長することを願い結成された。天童市内に県内で最初の単位のスポーツ少年団が誕生して以来、二十数年たった今日、単位団七百四十、団員と指導者を合すると三万人を超す組織体に発展した。

今日の隆盛をみるまでには幾多の困難にも屈せず、献身的な、惜しみない努力、支援

しかしながら、団員・指導者の増大、スポーツ欲求の多様化、小学生団員等への対応など、現在でも多くの課題を抱えている。加えて、青少年の健全育成は社会全体の緊急課題であり、青少年育成団体の中核をなす本団には、重大な使命が課せられていると言わねばならない。

これらの課題を解決するには、本団の組織だけでは対応

できない内容を含んでいるが、自らの組織の役割、機能を再認識しながら「自分、自分たちの子供は、自分、自分たちで育てる」と言った主体性を持ち、地域、関係機関、団体等の密接な連携を保つことが不可欠なことと考える。

この意味においても、県版広報紙の発刊は、指導者はじめ関係者間の意志の疎通を図る一助として大いに期待できるものであり、喜ばしい限りである。

今後とも、この紙面の有効活用と本団育成に一層のご尽力を賜るようお願いしたい。

まさにスポーツ少年団活動が、多くの青少年に生涯にわたってスポーツを愛し、実践

功労者と優良団体



昭和五十八年に県スポーツ少年団創設二十周年を記念し表彰制度を定め、スポーツ少年団活動の振興発展に功績顕著な個人及び団体について表彰を行っている。

今年度の功労者、優良団体の受賞は次のとおり。

〈功労者〉六名

▽安斎英助 ①山形市 ②

十一年 ③県代議員、県指導者種目別代表者、市本団員

▽小川貞志 ①最上町 ②

十一年 ③県代議員、地区指導協理事、町副本部長

▽小林清一 ①酒田市 ②

十五年 ③市副本部長

▽近藤徳太郎 ①三川町 ②十一年 ③県代議員、支部理事

▽今野長四郎 ①川西町 ②十六年 ③支部指導者種目別代表者、町指導協理会長

▽堀 善之助 ①鶴岡市 ②十年 ③県本団員、支部理事

①所属市町村 ②指導年数 ③主な功績を表す

〈優良団〉 四団体

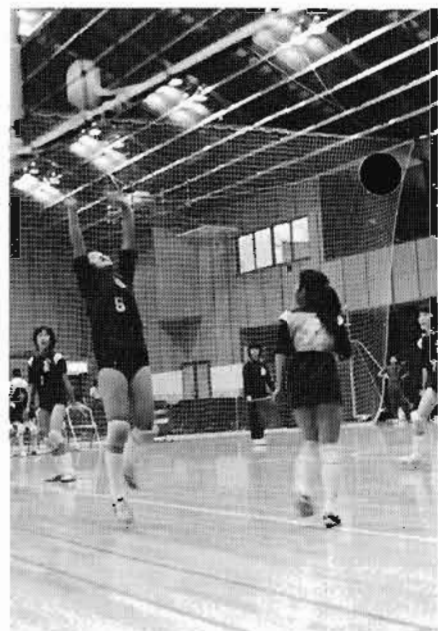
○大倉スポーツ少年団 ①村山市 ②昭和三十八年 ③複合種目、全国・県

昭和59年度

山形県スポーツ少年団登録状況

する「生涯スポーツの芽」を育て、それが青少年の健全育成と地域スポーツの振興に大きく貢献できることを期待するものである。

最後に、発刊に際しご協力をいただいた関係各位に心から感謝申しあげ、創刊のことばといたします。



▲育てようスポーツの芽

	団 数			団 員 数			指 導 者 数						
	更新	新規	計	男	女	計	男			女			計
							更新	新規	計	更新	新規	計	
総 数	690	50	740	18,093	8,914	27,009	2,420	1,035	3,455	143	102	245	3,700
東南村山支部	169	17	186	4,830	1,852	6,682	566	312	878	35	24	59	937
山 形 市	114	9	123	3,332	1,296	4,628	397	198	595	30	20	50	645
上 山 市	13	2	15	376	100	476	50	15	65	3		3	68
天 童 市	29	6	35	782	348	1,130	81	80	161	1	4	5	166
山 辺 町	8		8	186	55	241	21	6	27	1		1	28
中 山 町	5		5	154	53	207	17	13	30				30
西村山支部	49	4	53	1,216	710	1,926	193	64	257	4	4	8	265
寒 河 江 市	17	2	19	479	273	752	83	28	111				111
河 北 町	16		16	359	280	639	57	15	72	2	3	5	77
西 川 町	3		3	59	21	80	6	8	14				14
朝 日 町	9		9	188	75	263	34	4	38	2			40
大 江 町	4	2	6	131	61	192	13	9	22		1	1	23
北村山支部	55	6	61	1,442	576	2,018	209	77	286	15	2	17	303
村 山 市	21	1	22	519	120	639	86	18	104	1	1	2	106
東 根 市	14	3	17	449	224	673	51	27	78	7	1	8	86
尾 花 沢 市	16	2	18	360	223	583	63	24	87	6		6	93
大 石 田 町	4		4	114	9	123	9	8	17	1		1	18
最上支部	58	6	64	1,647	1,022	2,669	243	121	364	14	14	28	392
新 庄 市	17	3	20	467	208	675	48	31	79	6	6	12	91
金 山 町	5		5	180	121	301	23	10	33	3		3	36
最 上 町	7	2	9	203	111	314	58	15	73				73
舟 形 町	4		4	221	187	408	12	16	28		1	1	29
真 室 川 町	9	1	10	202	145	347	39	13	52	1		1	53
大 蔵 町	4		4	79	52	131	22	2	24	2		2	26
鮎 川 村	7		7	122	60	182	22	21	43	1	6	7	50
戸 沢 村	5		5	173	138	311	19	13	32	1	1	2	34
東南支隊支部	69	7	76	1,973	666	2,639	314	138	452	17	14	31	483
米 沢 市	36	1	37	997	268	1,265	124	60	184	4	6	10	194
南 陽 市	8	4	12	216	88	304	34	27	61	1	1	1	62
高 島 町	7	2	9	377	154	531	60	44	104	3	2	5	109
川 西 町	18		18	383	156	539	96	7	103	10	5	15	118
西置賜支部	47	5	52	1,210	639	1,849	128	82	210	7	8	15	225
長 井 市	17		17	617	238	855	81	27	108	6	3	9	117
小 国 町	6		6	89	53	142	9	5	14				14
白 鷹 町	16	5	21	376	238	614	29	19	48		1	1	49
飯 豊 町	8		8	128	110	238	9	31	40	1	4	5	45
庄内支部	243	5	248	5,777	3,449	9,226	763	237	1,000	51	35	86	1,086
鶴 岡 市	68	3	71	1,828	996	2,824	235	72	307	13	9	22	309
立 川 町	11		11	158	81	239	61	6	67	1		1	68
余 目 町	10	1	11	260	96	356	35	10	45	4	2	6	51
養 老 町	7		7	154	54	208	23	4	27	1		1	28
羽 黒 町	9		9	171	131	302	47	3	50	1		1	51
朝 日 村	7		7	171	135	306	34	12	46	7	1	8	54
楯 引 町	10		10	169	164	333	13	28	41		3	3	44
三 川 町	4		4	137	121	258	42	4	46	2		2	48
湯 野 町	4	1	5	91	61	152	13	4	17	3		3	20
酒 田 市	84		84	1,831	1,136	2,967	199	67	266	16	20	36	302
遊 佐 町	9		9	206	148	354	19	9	28				28
八 幡 町	7		7	173	67	240	11	4	15	2		2	17
松 山 町	7		7	174	127	301	37	8	45	1		1	46
平 田 町	6		6	154	132	286	14	6	20				20
県							4	4	8		1	1	9

- スポーツ交流大会参加
- 西郷サッカースポーツ少年団 ①鶴岡市 ②昭和四十六年 ③父兄のサッカーチーム結成、県内外との交流活動
- 南沼原柔道スポーツ少年団
- ①山形市 ②昭和四十二年 ③育成母集団、学校との連携、交流活動
- 米沢剣道スポーツ少年団 ①米沢市 ②昭和四十年 ③県内外交流活動、奉仕活動
- ①所属中町村 ②団結成年 ③主な活動実績を表す

指導者育成三ヶ年計画

山形県スポーツ少年団プロジェクト委員会 鈴木朝夫

本県スポーツ少年団の組織率は、対象年齢比一一・九割で全国第三位の組織体で発展し、その活動はますます活発化してきている。また、登録指導者数も団員比にすれば、全国トップクラスである。

さらに、「べにばな国体」内定以後、マスコミ関係にも取りあげられ、県民の寄せる期待は非常に大なるものがある。このことは、スポーツ少年団も社会的に認められたものと

して、関係者にとつては非常にうれしいことである。しかし、その反面、責任の重大さも自覚しなければならぬことである。団員のほとんどは小学生であり、その指導のあり方によつては、生涯、スポーツ好きの子供になりうるし、逆に伸びる芽を摘み取ることもなる。

スポーツを通じ、地域の少年たちの健全な育成を願う二十歳以上の者は、誰でも指導者になれるが、その指導がかつて選手時代に経験した練習法をそのまま取り入れたりその体験を基にするだけでなく、現在の子供の心や、特性を無視した指導、勝利至上主義の指導等にならないように心がけなければならない。

大事なことは、子供たちに「正しい時期に」「正しい事を」「正しく教える」ことであり、そのために指導者は、研修を深める必要がある。ここ

に、本県スポーツ少年団が、五十九年度より三ヶ年計画で単位団に一人以上のCコース認定指導者を配置しようとするわらいがある。幸い今年度は、米沢・東根・鶴岡の三会場に三百五十名もの参加者があり、その関心の深さには敬意を表するところである。今後はさらに、各市町村に育成指導員(A・Bコース認定者)を配置する計画を進めていく必要がある。

現在、スポーツ少年団活動には、多くの課題が山積しているが、とりわけ、指導者の資質を向上させることによりそのいくつかが解決できるものと確信する。

これからも、指導者はあらゆる機会に研修を重ね、スポーツ少年団の理念を明確に理解し、子供から学び、多くのスポーツ好きの少年たちを育成するよう、共に努めたいものである。

昭和59年度指導員資格取得者

◎Cコース(県内講習単位団育成指導員)

▽山形市/殿染秀昭・札野剛・秋葉広雄・山口一・平吹信彦・鈴木啓司・井上みやま・斎藤吉弘・佐々木孝夫・井上秀男・鍋倉武

▽山市/牧野良一・井上紗世子・木村輝子・齋藤秀彦・平幸雄・山口繁信

▽天童市/齋藤吉治・森谷広二・黒滝寿子・富樫乾治・新関義行・五十嵐啓二・水戸芳美・津藤弘志

▽山辺町/村岡寛二
▽中山町/松田康彦・渡辺清春・相沢芳宏・尾崎進・秋葉俊行・鎌田雅和・今田善次郎・叶敬一・秋葉聖一

▽寒河江市/堀米伸一・柏倉俊二・村山武美・大谷博文・菊地睦雄・三橋護郎

▽河北町/森谷修・菅正志・石川敏彦
▽西川町/日塔邦昭・伊藤奈美

▽朝日町/長岡和男・佐竹栄一・長岡孝・佐藤和春・清野久憲・渡辺定男

▽村山市/佐藤俊一・宮崎良春・齋藤敏之・工藤一男・芦野實・齋藤勸雄・黒沼仁・伊

◎Bコース(中央講習市町村育成指導員)

平田町 池田尚義
河北町 庄司宏和
西川町 奥山勝弘
山形市 安食英治
新庄市 奥山康夫
松山町 秋葉弘毅

◎A・Bコース(認定研修)

川西町 坂田喜一郎
朝日村 佐藤利浩
鶴岡市 村田久忠



▲スポーツ好きを育てるために

藤由喜雄・奥山憲一・大内憲一

▽東根市／千葉徹・武田栄吉・早川広幸・高橋衛・安部幸・安部美知雄・榎順一・矢萩三千男・中川助治・土田吉博・植松久三郎・鈴木幸一郎・佐藤久身男・増川敏雄・阿部正敏・瀬野喜美子・小山田正治・石山穂・保角国雄・滝口功・有路孝雄・大内正宣・安食捷也・奥山喜三郎・植松運弥・中野秀昭・斎藤一男・佐々木定由・細矢昭男・伊藤一・笹木浩幸・板坂明志

▽尾花沢市／安食重幸／西塚良一・酒田正義・星川昭雄・伊藤竹彦・原田信哉・笹原登・山口敏晃・井上玲子・石山利悦・吉田邦敏・高橋誠一・永登忠男・永登一明

佐藤千代治・須藤浩吉・溝越久雄・工藤敏也・吉田勇

▽大石田町／阿部茂・早坂孝・森秀雄・板垣知明・早坂正登・秋保晃・植松茂・今野良洋

▽新庄市／奥山健一・甲州則雄・加藤幸男・小野善次・早坂タケ子・泉一彦・加藤誠一・伊藤章・加賀晶春・清水清秋・小松茂美・斎藤二三男

▽最上町／阿部義雄・佐藤正二・大場俊明・菅正晴・中嶋福則・青木孝・佐藤進・大場今朝信・奥山正道

▽金山町／大場昭雄・栗田保則・横山勲・星川英一

▽舟形町／大場輝美・伊藤準悦・伊藤春義・大場忠良・伊藤茂・鈴木一郎

▽真室川町／栗田吉之助・榎本孝・栗田和平・高橋光雄・佐藤兎・土屋貞幸・高橋勝広・梁瀬儀信・佐藤友一

▽大蔵村／伊藤元吉・田中滋・越後享

▽鮭川村／佐藤隆一・八锹吉英・千川原康・黒坂チヨエ・井上下ミ子・高橋真一・堀龍忠次・井上昭二・八锹啓介

▽戸沢村／長沢豊勝・庄司馨・高山裕一

▽米沢市／佐竹勝美・松田俊春・橋本敏郎・鷹島武夫・五十嵐三夫・信田栄一・雪好輝・丸山利夫・小池孝・羽生田彰一・富所一雄・大渡朝夫・松本司郎・地主憲一郎・那須昭二・遠藤富男・渡部昭三・竹田茂美・清野忠義・渡部善雄・色摩清・仲山幸久・遠藤和雄・塩川勝彦・白田一雄・大峽勇助・加藤敏夫・五十嵐弘・新

田義雄・鈴木敏正・高橋源五郎・石山勇・加藤功・坂野善一・油井善紀・須藤英次郎・今井恒平・岡崎博子・橋間桂子・塚本祖玄・中條洋・高橋満

▽南陽市／外山嘉之・加藤貞三・沖山勝男

▽高島町／高川進・桑島務

▽川西町／佐藤しろみ・渡部俊明・吉永忠司・片倉蔵男・佐藤総一・荒井浩・寒河江勇造・大木政明・斎藤庄次・御供静雄・井上充・小形耕一・小形憲一郎・星野広志・寒河江輝文・坂田トシ子

▽長井市／高橋直人・淀吉二・梅津和士・金田幹夫・大城敬親・垂石征子・渡辺知香子・金子慶子・米野稔・手塚辰弥・渋谷昭宏

▽小国町／藤井孝司

▽白鷹町／菅原利昭・児玉文博・関誠三・鈴木秀夫・小関浩司・清野英司・文屋正道

▽飯豊町／木村孝助・山口一郎・粕川孝男・嶋津和寿

▽鶴岡市／菅原孝・増子英夫・恩田通・金子隆雄・斎藤勝・丸山勤・本間清治・氏家昇一・阿蘇宣夫・若松寿夫・佐藤信行・大川利男・松浦文

夫・伊藤孝雄・田沢慶二・原田莊道・板垣幸市・片桐芳晴・渡部一彦・丹治正彦・富樫賢市・工藤春一・伊藤喜一・長谷川清一・長谷川友清・石塚威久・石塚健・小松金弥・海藤甚一・桜井勉・堀善之助・小林忠・古住彰・斎藤仁志・五十嵐隆子・伊藤孝紀・井上林・佐藤佳代・鈴木幸子・常世栄助・上林清一郎・佐藤二郎・中鉢喜八郎・笹原隆・富樫恒文

▽立川町／工藤己吉・成沢辰男・斎藤義昭・八木徳郎・池田博史・阿部清次

▽余目町／小玉卓治・高梨英勝・佐藤繁

▽羽黒町／鈴木修・小林忠好

▽朝日村／萬年せつ・上野薫・渡部孝志・渡部憲一・佐藤雅秀・佐藤純一・向田利弘・斎藤孝昭・八幡喜代志・渋谷優・和田太美夫・金丸勝俊

▽榑引町／坂尾芳子・釘持正・斎藤勝彦

▽酒田市／加藤克哉・高山英夫・小野実千夫・小野寺良雄・渋谷登・児玉和康・本間純一・伊藤千春

▽遊佐町／池田和博・後藤淳

▽八幡町／成沢学

▽平田町／三浦正昭・佐藤孝・菅原一夫・佐藤誠一

▽松山町／高橋幸夫

▽県／菅野喜教

▽講義及び研究協議

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

講義及び実習

全テーマを通じた研究協議、実践発表

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

スポーツ少年団 指導員養成コース

類別	課目	内容
共通課目	スポーツ少年団育成の意義と原則	講義及び研究協議
	単位スポーツ少年団	〃
	スポーツ少年団の組織と機能	〃
	少年期の特性	〃
	少年スポーツの指導	〃
	安全のための方策	〃
	スポーツ少年団活動	〃
スポーツ少年団体力テスト	講義及び実習	
全テーマを通じた研究協議、実践発表		



▲西ドイツの一行を迎えて

最初の日、言葉が通じないと困るだろうと思い、アメリカ人のモニカ・ノツカーさんに一泊してもらいました。しかし、彼女もまだ日本語の勉強中で、手のひらに入る程の英和辞典を持っていて、言葉につまる。それを見せて理解させる、という会話の方法でした。私も、早速豆辞典を買って会話に役立てました。すると、ザウアーさんも独英の豆辞典を持っているではありませんか！。お互いに顔を見合わせて大笑いしました。なるほど、彼等がちよつと旅行す

古いきれいな町並みとすばらしい自然、そして優しく陽気な人々に囲まれたドイツでの三週間があつという間に過ぎてしまった。私はすばらしい人々と共に私の人生の中に大切な時間を過ごしたことをあらためて感じている。学校訪問、境界線見学、教会やお城見学、そして、水泳や山登り、バレーボール。それぞれの中でいろいろな事を考え学んだ。

食生活の違い、学校や仕事の時間、休日の違い、学校の違う、学校や仕事はとも、こういう所は初めて大喜び、カウスターに座り、手でつまんで食べて見せました。二人とも、おいしいと言って食べたので、次々に食べてくれると思ったのですが、ザウアーさんは全部平らげたものの、サヴィーネさんは三個ほど食べただけでした。今回、多忙な日々が重なり、得意のケーキ類を焼いておかなかつたのが心残りでした。

私はドイツに新しい家族が二つもできた。優しいパパとママ、そして子供たち。「交流は今から始まるのです。」その言葉が別れの悲しみをやわらげてくれた。これから私は下手くそな手紙で、ずっと交流を続けていこうと思う。パパが最後の夜

交流 友好



異文化の受け入れ

東北には珍しい猛暑の夏、外に出ると汗が吹き出してきます。西ドイツでは三〇度以上になる事はないという。けれど、彼等は、この暑さを一言も口に出さない。ただ、朝起きた時と、外出から帰った時、必ずシャワーを浴びる。これは良い習慣だ。さつそく、わが家の子供たちにも励行してもらおう。

真の交流をもとめて

朝日バレーボールスポーツ少年団

大館 幸

天重市 米谷 佳奈江

るといって、たいてい国外になるのですね。

彼等の好みそうな料理を色々作ってみました。が、あまり食べてもらえません。何を食べたいか聞いたところ「日本の食べ物」という返事に、お寿し屋さん案内しました。

二人とも、こういう所は初めて大喜び、カウスターに座り、手でつまんで食べて見せました。二人とも、おいしいと言って食べたので、次々に食べてくれると思ったのですが、ザウアーさんは全部平らげたものの、サヴィーネさんは三個ほど食べただけでした。今回、多忙な日々が重なり、得意のケーキ類を焼いておかなかつたのが心残りでした。

野外での触れ合い

じてたくさん仲間でできたことをとてもうれしく思うし誇りに思う。初めて会った人とも、何も話さなくても手をたたき合い、励まし合い手をさしのべる。

私はドイツに新しい家族が二つもできた。優しいパパとママ、そして子供たち。

「交流は今から始まるのです。」その言葉が別れの悲しみをやわらげてくれた。

これから私は下手くそな手紙で、ずっと交流を続けていこうと思う。パパが最後の夜



に言った言葉が忘れられない。つかきつと…。交流はたった「あなたはいつ、私たちの今から始まったばかりですか」ところへ帰ってきますか。」い…。See you again!

県スポーツ少年団大会に参加して

大江剣道スポーツ少年団

鈴木 映里

七月三十一日、すごい暑さだ。この暑さの中で三日間活動していくのがおもしろいやられる。受付けには県内各地から大勢の団員が集まってきた。私はこの三日間で多くの友達と楽しい思い出をいっぱいつくろうと決心した。

入所式では私たちのスポーツ少年団の清野君が歓迎の言葉を述べた。はきはきしてとてもよかったです。

一日目、自然のほうけんでのターザンロープがおもしろかった。二日目、テント設置、食事づくり、キャンプファイヤーといそがしい一日だったが、夜テントの中で遅くまで話合ったのが楽しかった。

三日目、お別れの日。長いと思えた三日間もあつという間に過ぎてしまった。友達と電話番号を教えあい、また会



▶活動を通じて協力する気持を育てます

体験と書いて

引率指導者 鶴岡市 佐久間 義広

全国スポーツ少年団大会が七月二十八日から栃木県令市スポーツセンターで開催され、本県より一五名の団員が参加し、四泊五日の活動に入った。

常陸宮殿下・同妃殿下をお迎えしての開会式に五百余名の全国からの団員とともに参加、二日目から子供たちは班別活動に入り、他県の団員となかよくできるか、ちよつと不安でしたが、翌朝、子供たちを見たとき、以前からの友

達みたいにみんなニコニコしているのが安心した。また、全国の団員が一同になったスポーツ活動、登山、オリエンテーリングを行う姿は、さすが全国から選ばれた子供たちと感心させられた。私たち指導者も全国各地から集い、どんな指導方法で子供たちと接しているのか話し

全国に広まった友情の輪

鶴岡市 菅原 信宏

菅原 信宏

第二十二回全国スポーツ少年団大会は、栃木県において、七月二十八日から八月一日までの五日間、参加者数五百名以上の多くを数え、盛大に開催されました。

活動内容は、スポーツが中心で、ボクは、サッカーで頑張りました。また、苦労して登った白根山や、オリエンテーリング、ミニスポーツフェスティバル、そして、最後のキャンプファイヤーなど、

合い、その結果、厳しい姿勢と楽しいスポーツ」ということにおち着いた。最終日の大会を飾るキャンプファイヤーでは、団員たちも音楽に合わせて手をたたき、時間のたつのも忘れて踊りまわり、たのしい交流を深めました。多くの体験と思い出をかみしめながら、私も子供たちもこの大会をふみ台にしてがんばっていききたいと思えます。



▲大きく広がれ友情の輪

少年団「運動適正テスト」をみて



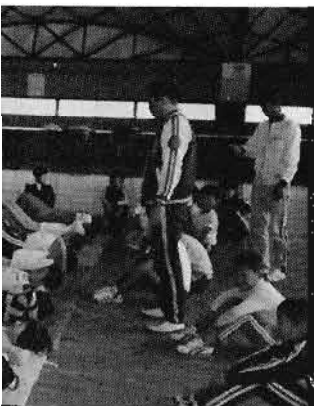
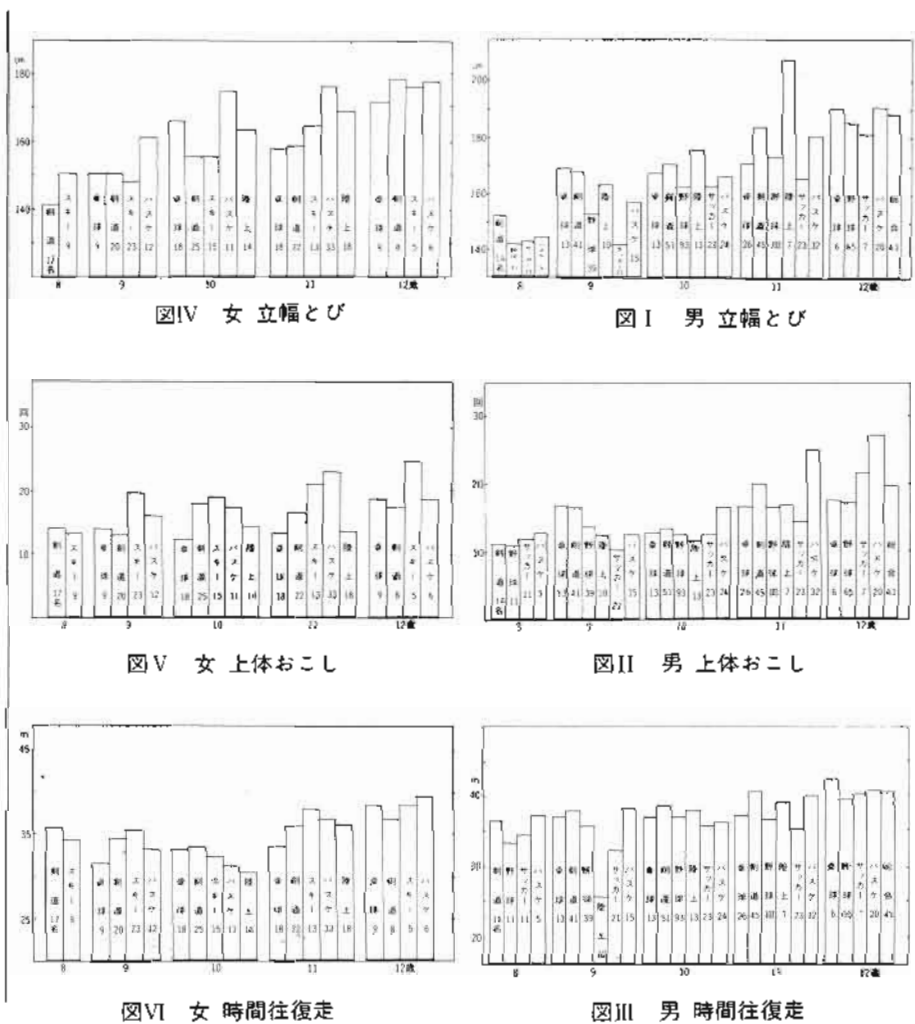
山形大学教授 荒木善行

べにばな団体を目指し県民のスポーツ熱は徐々に上昇しつつある。この団体の主役は、現在の小学校高学年の児童たちであるだけに、スポーツ少年団の役割は大きい。今回五十八年度実施した県内スポーツ少年団員の体格、運動能力の測定結果を集計した。紙面の都合上「立幅とび」「上体おこし」「時間往復走」の三種目のみを男女別、スポーツ種目別年齢別にして図Iから図VIに示した。ただし、体格・運動能力ともに、測定ミスと思われる数値や未記入種目がみられたことは誠に残念であった。全体的にみて、男女とも八歳から十二歳まで順調な伸びがみられた。特に「立幅とび」は三種目中一番大きな伸びがみられた。これはスポーツの影響も考えられるが、身長との相関も高いだけに加齢による伸長とも思われる。

「上体おこし」は筋力測定である。男子の年齢別間にはゆるやかな伸びがみられる。女子は十一歳・十二歳で大きく伸びているが九歳と十歳間の差は小さい。この年齢層で

は、早熟な女子が男子を上回っているように思われる。「時間往復走」は敏捷性テストであるが、児童たちの集中力テストでもある。男女とも八歳児で約三十五秒、十

二歳児で約四〇秒と五秒だけの伸びでゆるやかである。以上の結果から、スポーツが児童たちの運動能力発達に影響を与えているとは速断できない。それは、本測定法と



スポーツ

学習コーナー

少年期の特性について



スポーツ少年団
育成指導員

川村 勝 夫

指導者としての基盤づくりが
責務であると思う。

そこで、指導者として常に
心掛けておかねばならない事
柄に次の点があると思う。

(一) 身体的特徴の認識

少年期の特徴については
理論的にはよく知られてい
るのだが、ややもすると、

指導者は高いレベルの技術
を追い求めがちで、能力や
体力を超えたトレーニング

を課しやすいが、この時間
は、発育途上期であり調和
のとれた総合的発育発達を

同一種目での非スポーツ少年
団員や県・全国等の測定値と
の比較がないこと、測定方法
の正しき等に疑義があるから
である。今後は測定条件、方
法などを研修し、各スポーツ
少年団で測定の正確を期すこ

とが肝要であろう。
昭和五十七年度体力運動能
力調査報告書(文部省)は、
スポーツ実施状況や実施時間
が児童の体力運動能力と有意
な関連のあることを報告して
いる。児童たちの望ましい体
促す範囲をこえてはならな
い。

(二) 精神的特徴の認識

子供の心の動きは直情的、
感覚的であり且つ繊細であ
る。自我が確立されていな
いこの時期は外部的条件に
強く支配されやすく更に不
安定である。子供時代に大
人から受けた影響は将来人
生観としてうえつけられる
こともあるので、正しい価
値感のもたせ方と人格形成
を忘れてはならない。わけ
ても子供たちの身近にいる
指導者の人間性は大きく影
響するものと思われる。

(三) 子供の生活環境の認識

子供の生活行動の基盤は
第一に家庭である。特に両
親から受ける影響は多大な
ものであり、指導者にとつ

格・運動能力の発達のため、
スポーツ少年団の益々の向上
発展のため、本集計結果が少
しでもお役に立つことを祈り
たい。

体力運動能力向上のために

て子供のおかれた家庭環境
の認識なくして適切且つ良
き指導はあり得ない。子供
が両親から受ける影響はす
べてにおいて好ましいもの
ばかりではない。従って活
動目的にもそれぞれ異なっ
た価値感をもっていること
がままある。指導者は健全
育成のためには望ましい方
向への修正をしなければな

らないことがあるが、そう
した意味でもそれぞれの子
供たちの生活環境を正しく
把握し認識していくことは
極めて大切なことである。

以上、大まかに述べたが、
より適切な指導をするとい
う指導者の基本的な姿勢は、対
象に対する観察ではないかと
思う。子供たちに対して純粋
な愛情を持つほど指導者は真
剣な観察をするはずである。

従って、まず子供たちをと
りまく実態を正確につかもう
とする意欲をもって観察する
ことは、特に少年期の指導者
にとつては大変重要な事であ
ると思う。少年期の特性とは
何であるかを理解するには、
スポーツ少年活動は競技以前の教
育であるという事を充分認識
していかなければならないと思
うのである。



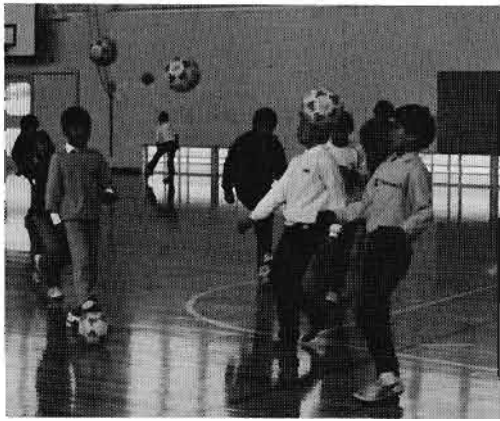
▲スポーツに親しむ環境づくり



ほなみサッカースポーツ少年団

代表指導者 鈴木賢和

山形市の西北部五反田、田園と果樹園に囲まれた金井小、ここにわがスポーツ少年団があります。四十八年に、細谷先生を中心に二〇名ほどの団員で発足、当時の父兄たちはサッカーのサの字も分からず団の運営、指導すべて先生まかせでした。先生が転任になった時は、すっかり困まり果てましたが、当時育成会員だった今の鈴木監督が、細谷先生・市サッカー協会・県技術委員会の指導を得ながら苦難の道を通り、十周年を迎えるに至りました。



▲足はばきも堂にいったものです。

ります。したがって、(親子の断絶)等と言う事は無いと自負しております。もはや団員は七〇名をこえ、監督を中心にコーチ三名、さらに四月からは若いバリバリの団員OBのコーチを加え、いちだんと強力な指導体制となります。これからも、サッカーを通して(健全な精神の育成・礼儀正しく)をモットーにがんばって行きたいと思えます。

紹介。自慢

日新バドミントンの紹介

小林葉子

わたしたち日新バドミントンスポーツ少年団は、四年生九名、五年生九名、六年生十五名、計三三名の明るく、たのしいクラブです。指導してくれる先生は、斉藤、高橋、長山先生の三人です。

練習は、毎週土曜日に南部公民館の体育館をかりてしています。午後一時半から午後三時までの約一時間半、みんないっしょうけんめいがんばっています。

練習メニューは、その日によってちがいますが、ほんの一例を紹介します。

先生が来る前に、ランニングと体操を終わらなければなりません。だから、一時半になる前に、園長の高橋三津子

わがまちの指導者

川西町吉島地区
柔道スポーツ少年団指導者



寒河江 寿 樹

昭和34年3月22日生
血液型B型 独身

彼は、昭和44年、小学校5年生のとき吉島地区スポーツ少年団の第1期生として入団し、現在も現役バリバリの若き指導者です。

経歴は、入団以来、県スポーツ少年団大会、東北ブロック大会、全国大会、リーダーズスクールに参加し、更に昭和51年には、第3回日独同時交流に参加しているスポーツ少年団OBの指導者です。

明朗快活な性格で、常にムードメーカーとして指導者仲間の信望も厚く、子供たちにも好かれています。

今後さらに経験を積むことにより、素晴らしい指導者となることが期待されています。

川西町スポーツ少年団
坂 田 喜一郎



追想

山形県教育委員会

教育委員長 三宅 高子

人生さき短くなると、過ぎたことがいろいろ思い出されるものだと聞かされていましたが、庭の雪景色を眺めているうちに、小さかった頃の懐かしい冬の思い出が浮かんできました。

雪遊びに夢中になり夕暮れ遅く家に帰り父からひどく叱られた時、ぬれてカチカチに凍った私のズボンを母は黙って薪ストーブの傍らで、着替えさせてくれたものでした。寒い朝、母に「起きなさい」と言われ、もう少しと布団にもぐりこむ私に、「雪が積もったよ」と声を掛けると犬っころのように飛び起きてくる子だったと、笑われたものでした。

雪が降ると、今日は何をして遊ぶうかと、胸をときめか

せたものでした。下駄にカネを打ったドッゴや箱槍などは、じきに飽きてしまい、ゴム長にヒモで結んだ旧式なスケートをはいてランドセルをカタカタさせながら友達を追い越して通学したこともありました。車社会の今日では考えられない道路でのこれらの遊びがたくさんあったのです。スキーは長ぐつ回りを皮バンドで締めてはく簡単なもので、転ぶとすぐはずれて雪がくつの中に入ったりして、現在の完璧な装備とは比べものにならない原始的なものでした。

たしか小学五・六年生頃、はじめて秋田全市の小学校対校スキー大会が開かれました。私はリレーのアンカーで出場することになりました。「女の子だからお転婆になるな」といつも言っていた父が、その前の晩にならで、ゴム製のスキー靴を買ってきてくれました。うれしくて感激して走り、他校生を抜いて抜いて一等にすることができました。が、それ以上に辛くて苦しくてもう駄目だ、死にそうだと思つたとき、受持の築瀬先生とクラス全員が声をからして「ガンバレ」と連呼し、伴走してくれましたおかげだったと思ひ出されます。

さんを先頭に体育館を十周走ります。それから、まるく輪になって、準備体操をします。本間愛組が三位に入賞しました。二人組になって、じゅうなん体操をし、先生が来るまでクリアー打ちをしています。そのあと、整理体操をしてから、なわとびをしたり走ったりして遊びます。だから、みんなたのしくやっています。この練習は、遊びではありませぬ。全部試合のための練習です。いままで、いろいろな試合がありました。一番初めの試合は、昨年の十月十日の新庄市総合体育大会バドミントン大会です。上位を全部とるといふすばらしい成績をおさめました。

次に県民スポーツ大会があり、団体戦で三位に入賞しました。その次に、県スポーツ少年団ジュニア大会です。この日のために、お母さんやお父さんも加わって、夜の六時から九時ごろまで練習しました。五年生の伊藤静恵・本間愛組が三位に入賞しました。そして、わたしたち六年生にとって最後の試合が、この前、新庄市営体育館で開かれた新庄地区の選手権大会です。六年生は、最後の試合だけに、みんながんばりました。これからも、もっと力を伸ばして、すばらしいスポーツ少年団になってほしいです。



▲川原での芋煮会も楽しい活動

昭和60年度

山形県スポーツ少年団関係事業予定

事業名	期日	会場
・第16回県少年剣道錬成大会	5/19	県体育館
・県代議員会	5/24	山形市
・県指導者養成講習会Cコース	5月～2月	・東南村山上 ・最上 ・西置田
・県少年少女陸上競技大会	6/30	山形市
・第7回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 県予選会	7/6・7 (予備日13・14日)	中山町
・小学生バレーボール大会県予選会	6/30	川西町
・全国少年団サッカー大会県予選会	第1次6/23 決勝7/7	山形市 山形市 山形市
・第21回県スポーツ少年団大会	8/1～3	山形市
・第16回東北ブロックスポーツ少年大会	8/1～3	山形市
・第23回全国スポーツ少年大会	8/1～5	山形市
・第12回日独スポーツ少年団同時交流	派遣7/19～8/8 県内受入7/21～26	山形市
・第9回全国少年サッカー大会	7/29～8/3	山形市
・中央リーダーズスクール(シニア)	前期8/12～15 後期3月末	山形市
・第7回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8/15～19	山形市
・第5回東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会		山形市
・サッカー	7末～8上	山形市
・柔道	12月中旬	山形市
・ミニバスケ	3/28～30	山形市
・育成指導員養成中央講習会(A・Bコース)	9/27～10/1	山形市
・第10回県民スポーツ中央大会	10/13	山形市
・県ジュニアリーダーズスクール		山形市
・体力テスト判定員養成講習会		山形市
・県ミニバスケットボール交歓会	12/1	山形市
・東北ブロック指導者研究協議会兼県指導者研修会	12/7～8	山形市
・県スポーツ少年団表彰	12/7	山形市
・市町村担当者研修会	3/14・15	山形市
・第4回県スポーツ少年団柔道大会	3月下旬	山形市
・第8回全国スポーツ少年団競技別交流大会		山形市
・剣道	3/29～31	山形市
・卓球	3/26～29	山形市
・母集団研修会	5月～2月	山形市
・地域交流促進事業	5月～2月	山形市

お知らせ

スポーツ安全協会傷害保険(賠償付)

賠償責任保険がプラスされました

●保険料(年額1人当り)

- ①スポーツ活動
- 中学生以下の子ども……………350円
 - ママさんバレーなどの社会人……………1040円
 - 高度なスポーツの競技者……………1,570円より
- ②文化・奉仕活動
- 中学生以下の子ども……………350円
 - 社会人、その他一般……………420円

●保険金額(1人当り)

通院保険金	入院保険金	後遺障害・死亡保険金	賠償責任
日額	日額	死亡1,200万円	対人5,000万円 (免責1,000円) 対物100万円 (免責1,000円)
1,000円	3,700円	後遺障害 1,200万円以内	

●適用の範囲(担保条件)は

- 団体の管理上の活動中の事故
 - 通常の経路往復中の事故
- 保険期間(有効期間)
毎年4月1日から翌年3月31日まで
(申込は3月1日より受付)

<保険加入手続先>

山形県支部 〒990 山形市松波4-5-5 黒井産業ビル内
☎0236428321
山形銀行県庁支店 ☎209406
山形地方貯金局 山形1-5873


<保険金請求の手続先>

山形支店・損害課
〒990 山形市番道町3-1-7(朝日生命ビル4・5階) 山形(0236)2391190
庄内損害サービスセンター
〒997 鶴岡市鳥居町32-7 鶴岡(0235)24637360

●万一事故にあわれたとき

●傷害保険
事故の日から30日
以内にはがきで

●賠償保険
なだちに電話で
東京海上火災保険㈱の損害サービスセンターへ連絡



県スポ少愛用Tシャツ

サイズ

	胸囲	身丈
SS	72cm	64cm
S	78	68
M	82	70
L	86	72
LL	90	73



昨年第二十回県スポーツ少年団大会を記念してTシャツ

市町村の動き
鶴岡市

鶴岡市には二十一の小学校があり、七十一団の少年団が活動しています。小学校単位に学校、指導者、父兄、体協などで育成母集団が結成され地域、学校とスポーツ少年団との連携をはかっています。五十九年四月に小学校体育連盟が結成され、水泳大会、相撲大会、陸上記録会を実施

をつくりましたが、多くの団員、指導者にご愛用いただくよう今年も引き続き頒布しますので、ご希望の方は左記により申し込みください。

▽価格/一着一、二〇〇円
▽締切/第一回締切五月底
▽申込方法/原則として市町村でとりまとめのうえ、代金を添えて県本部あて申し込みください。

▽送料/県本部負担

なお、第一次締切日以降については、原則として十着以上限り単位団から直接申し込みも受け付けます。

するなかで、小体連と少年団の大会がかさなり、一部にトラブルがありましたが、六十年度は小体連と少年団との話し合いをもち、行事がかさならないように日程調整をはかっています。大会はかさならないものの、大会に向けての活動がかさなることが予想され、いちばん困るのは子供たちであり、トラブルのないように育成母集団の会議を定期的に開催するよう働きかけていきたいと思います。